

JR西労組

WEST UNION

創造・参加・実践

No. 411

WING

福岡地本ニュース

JR西労組福岡地方本部
福岡市博多区博多駅前 1-32-1
TEL 092-483-1148
発行責任者 米村 弘隆
編集責任者 松本 拓馬

「国や県にさらなる支援を切望」

はら議員が我々の窮状を議会で訴える！

危機的状況にある交通事業者に自治体から支援を

私たちの先輩であり、JR西労組議員団会議所
属の羽良和弘那珂川市議
会議員が2月22日の令
和3年3月那珂川市議会
定例会において「コロナ
禍における公共交通機関
の現状と課題」について
一般質問を行った。

コロナ禍において新し
い生活様式の定着や不要
不急の外出自粛と相まっ
て、公共交通機関の利用
者は大幅に減少してお
り、公共交通事業者は大
幅な収入源の中でコロナ
感染防止対策を十分に行
いながらも、国民の公共
交通としての使命を果た
そうと懸命に努力してい
ることに触れ、公共交通
の現状と課題について執
行部の見解を質した。

【羽良議員の質疑】
JR博多南線、西鉄路線
バス、かわせみバスのコ
ロナ禍における利用状況
はどのようになっている
か。

【執行部回答】
令和2年度上半期と令
和元年度上半期の利用状
況の比較においてJR博
多南線で75.5%、西鉄路線バ
スで67.6%、かわせみバスで
70.6%と非常に厳しい状況
である。

【羽良議員の質疑】
各事業者とも大幅な収
入減の中で、公共交通の
担い手としての責任と民
間企業としての維持・存
続に大きな課題が突きつ
けられていると認識して
いるが各交通事業者の経
営状況について、本市と
しとしてはどのように捉
え、どのように認識して
いるか。

【執行部回答】
本市で赤字を補填して
運行しているかわせみバ
スと西鉄路線バス市ノ瀬
系統については市の財政
負担が拡大している状況
であり、各交通事業者は
コロナ禍の減収分を自ら
で負担することになるた
め厳しい経営状況にある
ことは本市としても認識
している。

【羽良議員の質疑】
利用者が増れば当然運
賃収入も減り、その結果、
現在の運行本数維持が困
難になる。加えて法人税
が減少することになり、
結果的にコロナ禍におけ
る各交通事業者の経営状
況が少なからず地方行政
や市民生活に影響を与え
ることになるが、どのよ
うに受け止めているか。

【執行部回答】
法人税については次年
度以降の影響が考えら
れる。現在の状況が長期
化すれば経費削減の方
向にシフトすることも
想定され、利用者の少な
い時間帯における減便
など市民サービスへの
影響を懸念している。

【羽良議員の質疑】
一番大きな影響は減
便や運賃値上げなどの
市民サービス低下と考
えるが、公共交通に求め
られる役割についてど
のように認識している
か。

【執行部回答】
市民生活や経済活動
を支える重要な社会イ
ンフラであり、コロナ禍
においても市民の通勤・
通学・通院・買い物など
日常生活を支える必要
不可欠な移動手段とし

【羽良議員の質疑】
公共交通機関が果た
す社会的役割は極めて
大きく、本市として持続
可能な公共交通を維持
していくために、市独自
の支援策を行う考えは
ないか。

【執行部回答】
交通事業者の感染防
止対策に係る経費につ
いては福岡県の支援制
度を活用することが可
能であり、市として上乗
せで支援することは考
えていない。しかし、公
共交通の維持について
は交通事業者だけの問

【羽良議員の質疑】
確かに現在の市の財政
状況を考えると十分な支
援が出来ないの理解で
きるが、わずかであって
も各交通事業者へ何らか
の支援ができないもの
か。交通事業者に限らず、
市内の飲食店や商工業者
など事業者が厳しい経営
に苦しんでいる。国や県
の支援策はあるものの、
それだけでは不十分とし
ても市独自の支援策で少
しでも支援しようとして
いる中で、今の回答は非常
に残念である。



米村委員長と羽良議員

カネの問題ではなく

気持ちの問題

【羽良議員の要望】
JRや西鉄など大幅
な赤字の公共交通事業
者に対して、一地方自
治体ができる支援とい
うのは限られており、
わずかな支援が出来た
としても「焼け石に水」
という事は百も承知
しているが、マスクや
消毒液の支給というわ
ずかな支援でも交通事
業者にとってはありが
たいのではないかと。カ
ネの問題ではなく気持
ちの問題だ」と思う。
ぜひ公共交通の社会的役
割を十分に認識され、今
後とも市としてどんな
支援ができるか、また、
国や県に対して公共交
通事業者に対する更な
る支援策を強く求めて
頂くことを切望する。